

平成25年度業務実績評価

国際交流基金分科会：事業効果に着目した「評価のポイント」

I 評価のポイント

1. 東南アジア地域との交流強化

- 「日 ASEAN 友好協力40周年」記念事業 など

2. 海外における日本語教育の拡充

- 「JF 日本語教育スタンダード」の活用推進
- 「JF にほんごネットワーク」の拡大, 直営日本語講座の拡充 など

3. 次世代交流の拡大

- 日中交流センター事業
- 北米地域との青少年交流事業(米国事業分) など

国際協力機構分科会：事業効果に着目した「評価のポイント」

I 評価のポイント

1. 自由で豊かで安定した国際社会を実現するODA

- 普遍的価値や戦略的利益を共有する国への支援拡充
- 対ミャンマー支援
- シーレーンの安全確保・国際テロ対策への貢献
- 法制度整備支援・民主化支援
- 中東・北アフリカ地域の安定と繁栄に向けた包括的パートナーシップに基づく支援
- アフガニスタン及び周辺地域支援

2. 新興国・途上国と日本が共に成長するODA

- 日本ビジネスの国際展開への貢献(インフラシステム輸出支援, 中小企業・地方自治体の国際展開支援等)
- 資源・エネルギー確保への貢献
- 日本ブランドの発信強化

3. 人間の安全保障を推進し、日本への信頼を強化するODA

- ミレニアム開発目標(MDGs)達成とポストMDGs策定への貢献
- アフリカにおける人間の安全保障の促進
- NGOとの連携強化
- 環境・気候変動/防災対策
- 大洋州島嶼地域支援

コンプライアンス部会における「評価のポイント」

I 評価のポイント

* 政独委が今後発表する平成 25 年度業績評価の「具体的取組」の内容によっては追加・変更がありうる。

1. 内部統制の充実・強化

- リスクの把握及び対応など

2. 保有資産の見直し

- 関係閣議決定のフォローアップ状況、職員宿舎の見直し状況など

3. 契約・調達

- 随意契約の見直し、会計検査院の指摘事項への対応(国際交流基金)など